

県内経済 〈4月〉

概況

県内経済は、厳しい状況が続いているが、緩やかに持ち直している

機械金属の生産は弱い動きが続いているものの、電子部品が前年を上回って推移しているほか、木材も前年を上回った。建設は、公共工事が前年を下回ったほか、住宅着工も弱い動きとなっている。個人消費は全体として持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。

産業別の動向では、電子部品の生産額は、5G関連製品の需要が堅調に推移しているほか、車載向けも好調を維持し、6か月連続で前年を上回った。機械金属の生産額は、4か月ぶりに前年を上回ったものの、前月対比では減少しており、弱い動きが続いている。木材の生産量は、米国や中国における住宅需要の急回復等を背景に、普通合板(3月)が13か月ぶりに前年を上回ったほか、製材品も15か月ぶりに前年を上回った。公共工事請負額は、2か月ぶりに前年を下回った。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに大口受注があ

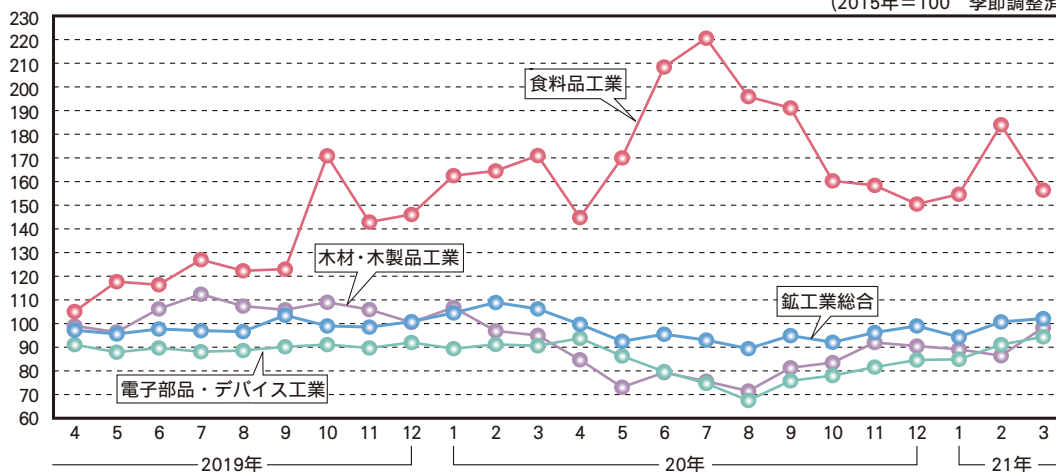
り、3か月連続で前年を上回った。住宅着工は、3か月ぶりに前年を下回った。個人消費は、新車乗用車販売台数が2か月連続で前年を上回ったほか、小売店販売額(3月)も2か月ぶりに前年を上回るなど、全体として持ち直しの動きとなっている。

有効求人倍率は前月比0.02ポイント上昇の1.35倍となった。新規求人数は前年比21.3%増となり、3か月連続で前年を上回った。事業主都合離職者数は前年比41.9%減となり、13か月ぶりに前年を下回った。

企業倒産件数は1件、負債総額は11億9,000万円であった。

秋田県鉱工業生産指数の推移

(2015年=100 季節調整済)



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

電子部品

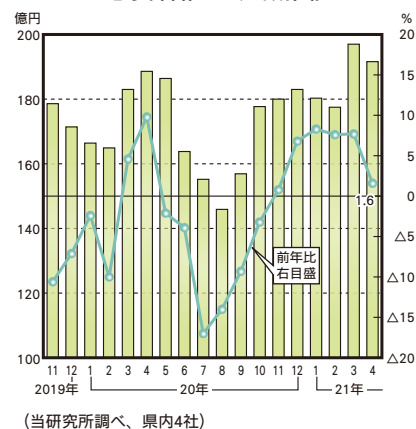
生産額、6か月連続で前年比増加

4月の生産額は前年比1.6%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

スマートフォンやタブレット端末、ゲーム機など5G関連の製品が増勢を強めており、車載向けも電気自動車（EV）向けの部品が好調なことに加え、世界的な半導体不足が続いていることで需要が高まっている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルは堅調に推移しており、長らく低迷していた半導体素子も増加傾向にあるものの、産業向け液晶パネルは減少に歯止めがかかっていない。

電子部品の生産額推移



機械金属

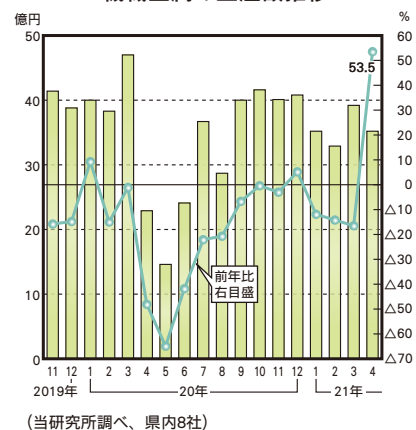
生産額、前年比大幅増も金額は前月を下回る

4月の生産額は前年比53.5%増と大幅に増加したものの、昨年4月が新型コロナウイルス感染拡大の影響で世界的な自動車販売台数が落ち込み、生産額が大きく減少したことによる反動であり、金額的には前月を下回った。

ウエイトの高い輸送機械は、半導体不足の影響で生産ラインを止めるなど減産しているメーカーがあることから減少が続いている。その他民需関連では、製鋼品、金型とも減少傾向にあり、建機部品も減少に歯止めがかかっていない。

公共工事関連では、水道部品は堅調に推移しているものの、橋梁・鉄骨は大幅減が続いている。

機械金属の生産額推移



木材業

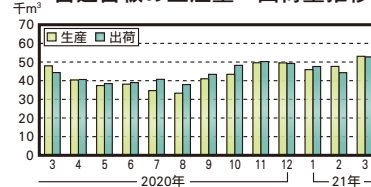
普通合板、製材品とも生産・出荷急増

国内では新設住宅着工戸数の低迷が続いているものの、米国や中国における住宅需要の急回復等を背景に、外材の入荷量激減と価格急騰の影響から全国的に需給が逼迫しており、県内でも普通合板、製材品とも生産、出荷が急増している。

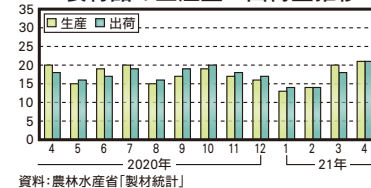
3月の普通合板は、生産量が前年比10.7%増と13か月ぶりに増加に転じ、出荷量も同18.8%増と2か月連続で前年を上回った。在庫量は、同43.7%減と8か月連続で減少した。

4月の製材品は、生産量が前年比5.0%増、出荷量も同16.7%増といずれも15か月ぶりに前年実績を上回った。在庫量は同4.5%減と2か月連続で前年を下回った。

普通合板の生産量・出荷量推移



製材品の生産量・出荷量推移

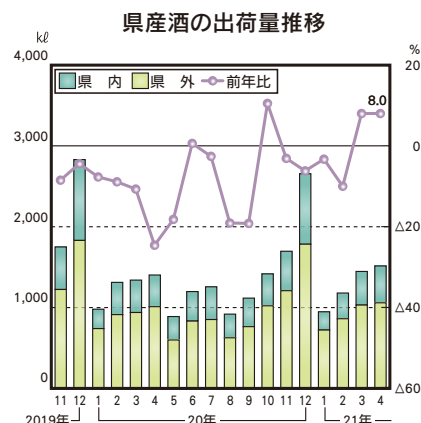


酒造業

出荷量、2か月連続で前年比増加

4月の清酒出荷量は、前年同月に緊急事態宣言の発令により業務用市場が激減した反動から、前年比8.0%増と2か月連続で前年を上回った。出荷先別では、県内向けは同16.4%増、県外向けも同4.8%増と、ともに増加した。県外の主な出荷先別では、東京が同0.1%減と僅かに前年を下回ったが、東北5県は同2.4%増、北海道も同9.7%増と前年を上回った。

2020酒造年度全国新酒鑑評会で、本県から出品された清酒18点が入賞し、そのうち13点が金賞を受賞した。金賞数は、新潟県と同数となり、福島県と長野県(ともに17点)に次ぐ全国3位となった。



資料：秋田県酒造組合

建設業

公共工事 県や市町村等が減少し、2か月ぶりに前年比減少

4月の公共工事請負金額は、国や地方独立行政法人が増加したものの、県や市町村等が減少し、前年比6.3%減と2か月ぶりに前年を下回った。

一方、当研究所調査による地元大手12社の4月の新規受注額は、前年比101.2%増の4,349百万円と3か月連続で前年を上回った。官公庁工事が、河川災害復旧工事や道路補修工事、ダム関連工事等の大口受注の寄与により同22.6%増と前年実績を上回ったほか、民間工事も、店舗や産廃処理施設等の建築にかかる大口受注があり同538.6%増と大きく伸びた。

公共工事前払金保証実績

(単位：件、百万円、%)

区分	件数	前年比	請負金額	前年比
4月	335	9.8	29,024	△6.3

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

地元大手企業12社受注額

(単位：百万円、%)

区分	4月	前年比	1~4月	前年同期比
官公庁	2,248	22.6	9,138	20.1
民間	2,101	538.6	3,196	120.0
合計	4,349	101.2	12,334	36.1

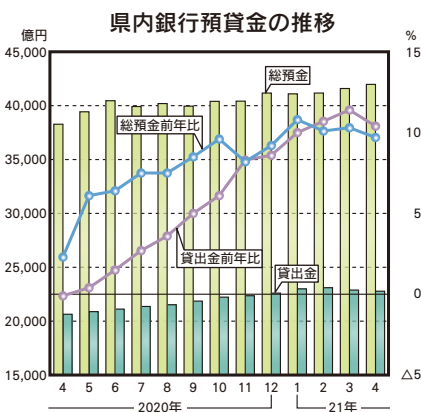
(当研究所調べ、県内12社)

金融

預金、貸出金とも前年比増加が続く

4月末の県内銀行の預金は、前月末比383億円増加し、前年比で9.7%の増加となった。貸出金は、前月末比104億円減少したが、前年比では10.4%の増加となった。資金需要が根強いほか一部企業で手元資金を厚くしており、預金、貸出金とも高い伸びが続いているが、伸び率は前月から鈍化した。

4月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は1件(前年比4件減)、負債総額は11億9,000万円(同112.5%増)となった。倒産件数は4月としては1971年の集計開始以来最少となったが、負債総額は10億円を超え、前年同月との対比で大幅に増加した。



資料：秋田県銀行協会

住宅着工

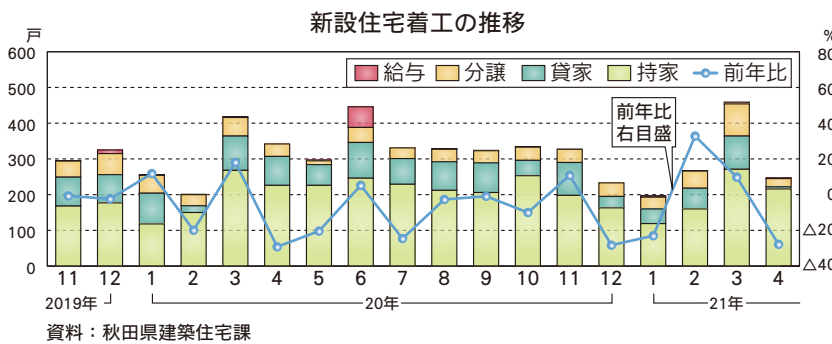
着工戸数、3か月ぶりに前年比減少

4月の県内新設住宅着工戸数は、247戸（前年比95戸減、27.8%減）であった。給与住宅は増加したものの、貸家が大幅減となったほか、持家と分譲住宅も減少し、3か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別では、持家が216戸（前年比10戸減）、貸家が6戸（同75戸減）、分譲住宅23戸（同12戸減）、給与住宅2戸（同2戸増）となった。

持家は、4か月ぶりに前年を下回った。貸家も、秋田市、横手市などで民間の賃貸住宅が減少したほか、鹿角地域で公営住宅も減少し、2か月連続で前年を下回った。分譲住宅も、3か月ぶりに前年を下回った。

地域別では、県北・県央・県南の全地域で前年を下回った。県北は貸家、県央は持家、貸家、分譲住宅、県南は持家と貸家の着工が各々減少した。



区分	2021年4月		21年1~4月	
	前年比	21年1~4月	前年比	21年1~4月
県北	52	△37.3	204	△16.4
県央	125	△28.2	728	3.3
県南	70	△17.6	238	△11.2
合計	247	△27.8	1,170	△3.9

資料：秋田県建築住宅課

個人消費

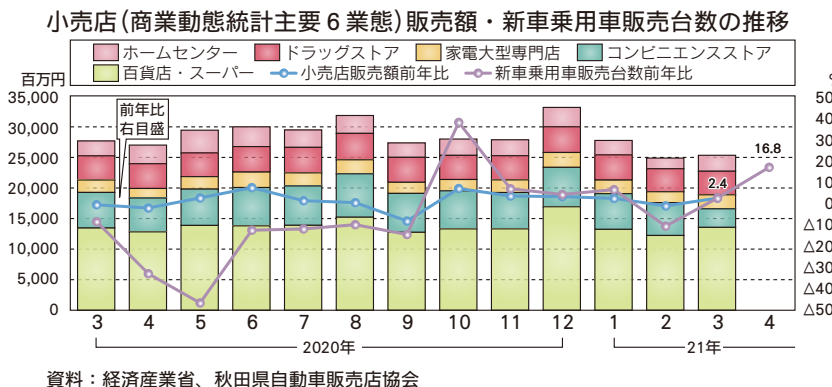
全体として持ち直しの動き

3月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、前年比2.4%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

内訳をみると、ドラッグストア（同2.7%減）で減少したものの、家電大型専門店（同12.6%増）、ホームセンター（同7.5%増）、コンビニエンスストア（同3.7%増）、百貨店・スーパー（同0.7%増）で増加した。

4月の新車乗用車販売台数は、前年比16.8%増となり、2か月連続で前年を上回った。

内訳をみると、登録車は同0.5%減と3か月連続で前年を下回ったものの、軽乗用車は同44.8%増と2か月連続で前年を上回った。



4月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,247	16.8
登録車	1,184	△0.5
普通車	530	32.2
小型車	598	△19.7
輸入車	56	27.3
軽乗用車	1,063	44.8

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標(前年比) (単位：%)

区分	1月	2月	3月
①消費者物価指数	△0.9	△0.2	0.3
②勤労者名目賃金	3.5	3.5	5.9

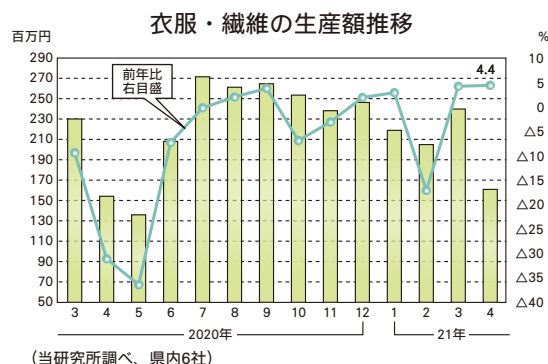
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）
②秋田県（事業所規模5人以上）

衣服・繊維

生産額、2か月連続で前年比増加

4月の生産額は、前年比4.4%増となった。新型コロナウイルス感染症拡大により一般衣料の売上が大幅に減少しているものの、前年度の大幅減からの反動増を主因として2か月連続で前年を上回った。

受注は、百貨店の休業による影響や閑散時期などが重なり、前年を下回った。



雇用

有効求人倍率、前月比0.02ポイント上昇の1.35倍

4月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.02ポイント上昇の1.35倍となった。常用の内訳では、一般は同横這いの1.24倍、パートは同0.23ポイント低下の1.07倍となった。新規求人の増加など一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から依然として改善の動きが弱まっている。

新規求人数は前年比21.3%増となり、3か月連続で前年を上回った。産業別にみると、製造業は同27.6%増となった。「情報通信機械」で大幅に増加したほか、「電気機械器具」、「電子部品・デバイス・電子回路」

なども二桁の増加率となった。非製造業は同20.6%増となった。「情報通信」で減少したものの、「サービス」、「生活関連サービス、娯楽」などで二桁の増加率となった。

新規求職者数は前年比4.0%増と、3か月連続で前年を上回った。

事業主都合離職者数は前年比41.9%減と、13か月ぶりに前年を下回った。

地域別雇用状況(パートを含む常用)をみると、新規求人数は県北、県央、県南でいずれも増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.34倍、県央が1.19倍、県南が1.04倍となった。

業種別・新規求人内訳および新規求職者数(全数)

区分	2021年3月		4月		
	前年比	前年比	前年比	前年比	
新規求人計	10,416	10.8	8,575	21.3	
製造業	910	14.9	818	27.6	
主要業種の内訳	食料品	149	0.0	184	27.8
	繊維	187	0.5	117	37.6
	木材・木製品	56	75.0	45	4.7
	電子部品・デバイス・電子回路	115	59.7	114	50.0
	電気機械器具	54	△3.6	47	67.9
	情報通信機械	5	150.0	17	240.0
	非製造業	9,506	10.4	7,757	20.6
	建設	1,288	17.2	1,264	24.9
	情報通信	56	55.6	66	△7.0
	運輸、郵便	366	51.2	411	24.2
卸売、小売	1,349	5.1	1,309	0.0	
宿泊、飲食サービス	1,355	△4.6	548	11.6	
生活関連サービス、娯楽	322	△4.7	301	44.0	
医療、福祉	2,052	8.3	1,758	20.2	
サービス	1,196	20.0	1,243	64.9	
新規求職者数	5,144	10.3	5,641	4.0	
有効求職者数	18,693	9.3	18,731	8.5	

資料：秋田労働局職業安定課
(注) 臨時・季節を含む

有効求人倍率および事業主都合離職者数

区分	2021年1月 2月 3月 4月				
	前年比	前年比	前年比	前年比	
有効求人倍率	常一般	1.29	1.26	1.24	1.24
	パートタイム	1.26	1.35	1.30	1.07
	全数(季調値)	1.31	1.31	1.33	1.35
事業主都合離職者数	2021年1月	221	190	243	447
	前年比	12.2	32.9	9.5	△41.9

4月の地域別雇用状況(パートを含む常用)

区分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比	前年比	前月比	前月比
県北	1,750	6.8	1.34	△0.08
県央	3,778	24.1	1.19	△0.10
県南	2,109	15.0	1.04	△0.05
合計	7,637	17.2	1.18	△0.08

(注) 臨時・季節を除く